



ぼくのでのひら美術館

作成: 畑田慶子

ぼくのなまえは、創
(つくる)。



みんなが「ふつう」だ
とおもうものも、ぼく
にとっては、とくべつ
な「作品」なんだ。



だから、ぼくは、ての
ひらに、せかいでいち
ばんちいさな「びじゅ
つかん」をつくったん
だ。

きょうのさいしょのさ
くひんは、「あさのし
ずく」だよ。ちいさな
ガラスだまみたい。



それから、「ありさんの
のくつあと」。きのう
とおなじみちを、あり
さんがあるいたしょう
こだね。



「かぜのおくりもの」。ふわふわのタンポポのわたげだよ。いまにもとんでいきそうだ。



あるひ、おかあさんが
「まあ、なんてすてき
なの！」と、ぼくのび
じゅつかんをのぞきこ
んだ。



おかあさんは、わらって言った。「これは、創ちゃんの『おもいで』のぎゃらりーね。」



だって、せかいは、ち
いさな「すてき」であ
ふれているんだから。